

指定管理者による公の施設の管理運営状況（令和4年度分）

施設名	県立こども病院
施設所管課	病院局経営管理課
指定管理者	社会福祉法人恩賜財団済生会支部茨城県済生会
指定期間	令和3年4月1日～令和8年3月31日

1 施設の概要

施設所在地	水戸市双葉台3丁目3番地の1
施設の概要	<p>(1) 敷地面積 39,495.39 m<sup>2</sup></p> <p>(2) 建物 17,484.245 m<sup>2</sup></p> <p>ア 本館 地下1階、地上3階 8,236.915 m<sup>2</sup>（車庫棟、R I室を含む）          （増築分） 3階 5,169.92 m<sup>2</sup>（ポンプ小屋ゴミ置き場を含む）          3階 497.60 m<sup>2</sup></p> <p>計 13,904.435</p> <p>イ リニアック棟 1階（別棟） 486.82 m<sup>2</sup></p> <p>ウ 医師公舎 2棟 8戸 460.00 m<sup>2</sup></p> <p>エ 看護宿舎 1棟 36室 1,289.10 m<sup>2</sup></p> <p>オ 周産期センター 1階（別棟） 738.36 m<sup>2</sup></p> <p>カ ファミリーハウス 2階 4室 161.39 m<sup>2</sup>          2階 6室 211.62 m<sup>2</sup></p> <p>キ 附属棟 2階（別棟） 232.52 m<sup>2</sup></p> <p>(3) 診療科目 小児内科、新生児内科、小児血液腫瘍内科、小児循環器内科、小児神経心療内科、小児内分泌・代謝内科、小児感染症内科、小児腎臓内科、小児アレルギー科、小児救急科、小児外科、新生児外科、小児泌尿器科、小児脳神経外科、心臓血管外科、小児形成外科、麻酔科、放射線科、小児整形外科</p> <p>(4) 病床数 許可病床 115床          稼働病床 115床</p> <p>(5) 病棟編成 NICU 18床（新生児）          GCU 18床（ ）          2A病棟 32床（骨髄移植センター、小児科・小児外科混合）          2B病棟 35床（小児科・小児外科混合）          ICU 6床 HCU 6床</p>
業務内容	「将来を担うこどもの生命をまもり、心身ともに健やかに育てる。」という基本理念のもとに、本県における小児医療の中核的な役割を担うためのこども専門病院として、低出生体重児等の危急新生児をはじめ、重篤・難治の疾患等に対する高度医療を行う。

2 職員の状況

常勤職員：	315人	非常勤職員	103人	合計	418人
-------	------	-------	------	----	------

### 3 収支状況

令和4年度

(単位：円)

収 入		支 出	
県交付金	96,614,078	人件費（給与等）	2,912,223,616
利用料収入	4,642,672,601	光熱水費	110,998,041
自主事業収入等		租税公課等	
その他（利息等）	465,332,144	自主事業費	
県有施設管理業務支援金		その他（事務費・修繕費等）	2,176,159,587
収入合計	5,204,618,823	支出合計	5,199,381,244

### 4 利用状況

	令和4年度実績	令和3年度実績	令和2年度実績
① 年間利用日数 (日)	365	365	365
② 年間利用者数 (人)	77,734	77,543	74,332
③利用料収入(円) (指定管理者収受額)	4,642,672,601	4,500,337,890	5,049,565,746

### 5 サービス向上に向けた取組み

- ・新型コロナウイルス感染症に係る県入院重点医療機関及び診療・検査医療機関として陰圧装置を整備した受入病床を10床確保し、入院患者の診療に尽力したほか、自宅療養となった小児患者が安心して過ごせるよう相談専用電話による診療支援を行った。
- ・また、発熱患者など救急患者の増加に対応し、開設以来最高となる2,502件の救急車を受入れるなど、水戸医療圏の救急医療に貢献した。
- ・基礎疾患を有する小児患者へのワクチン接種を推進するため、優先接種が必要なかかりつけ患者に対する接種を実施したほか、県や市のワクチン接種会場へ医師・看護師の派遣や小児接種事業に係るアドバイザー業務を行った。
- ・地域医療への貢献として、令和3年4月に再開した日立総合病院の地域周産期母子医療センターに専攻医2名を派遣したほか、引き続き水戸済生会総合病院などに小児科専攻医を派遣するなど、県央・県北地域の小児医療の充実に努めた。
- ・人材育成については、新専門医制度に基づく基幹施設として令和4年度も若手の小児科専攻医3名を新たに採用したほか、5名の専攻医が専門医を取得した。また医師や看護師の資格取得やキャリアアップを支援したことにより、医師1名が論文博士の学位を取得するとともに、看護師1名が特定行為を取得するなど当院の医療水準の向上が図られた。

### 6 利用者満足度調査の結果及び対応状況

- 実施方法  
外来患者家族、及び入院患者家族にアンケートを実施した。回答数：外来356人、入院58人
- 調査結果
- ①職員・スタッフの対応  
満足 67.4%、まあまあ満足 21.4%、普通 8.3%、少し不満 2.2%、不満 0.8%
- ②診察の内容（説明）  
満足 69.1%、まあまあ満足 21.5%、普通 7.9%、少し不満 1.5%、不満 0.0%
- ③施設の清潔さ  
満足 67.1%、まあまあ満足 21.5%、普通 9.4%、少し不満 1.7%、不満 0.2%
- ④施設全体  
満足 64.9%、まあまあ満足 24.9%、普通 9.2%、少し不満 0.0%、不満 1.1%

○利用者からの意見等
<b>【良い点】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・患者だけでなく、家族に対しても、きめ細やかな対応をしてくださり、本当に感謝しております。</li> <li>・(階段の装飾が)かわいらしかったです。他にも病棟のあちこちの壁にかわいい装飾があって、子供のために努力してくださっていると思い感心しました。</li> <li>・子供の不安感だけでなく、親の不安にもいつも寄り添っていただけて感謝いっぱいです。</li> </ul>
<b>【悪い点】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・受付のタブレット入力が毎回手間である。</li> <li>・呼び出し放送の音が聞き取りにくい。</li> <li>・看護師さんが少ないせいか、忙しそうでなかなか話しかけにくかった。</li> </ul>
<b>【要 望】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・付添い者のシャワー室をもう少し大きくしてほしい。</li> <li>・トイレが狭い。トイレの便器を洋式に変更してほしい。</li> <li>・飲食コーナーを大きくしてほしい。</li> </ul>
○対応状況
<ul style="list-style-type: none"> <li>・調査結果の概要は病院ホームページで公表する。</li> <li>・施設内の改修工事やワーキンググループによる院内環境改善の取組に反映させている。</li> </ul>

## 7 管理運営状況の評価

評価項目	事業計画 (管理指標)	実績 (管理指標に対するコメント)	自己 評価	所管課 評価
維持管理	設備保守点検は、事業計画等に照らし適切か。	保守点検業者に業務を委託し、適切に管理している。	B	B
	整理整頓・清掃が行き届いているか。 (建物・植栽等)	適切に行っている。	B	B
	破損箇所の修繕は適切か。	協定書に従い、指定管理者で対応すべきものは、適切に修繕している。	B	B
施設運営	使用日数、使用時間等は守られているか。	適切な運営を行っている。	B	B
	予約・利用許可等、利用者への対応は平等・公正に行われているか。	「将来を担うこどもの生命を守り、心身ともに健やかに育てる。」という基本的な理念のもと、患者に対しては平等・公正に対応している。	B	B
	創意工夫により、魅力ある自主事業の実施等、施設の利用拡大やサービスの向上が図られているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小児在宅医療に関わる人材の育成支援として、訪問看護ステーションや特別支援学校を対象に技術向上のための研修会やシンポジウムを実施している。</li> <li>・小児科専門研修プログラムにおいて、小児超音波勉強会を実施するなど、教育研修機能を充実させている。</li> <li>・筑波大の学術指導活動により患者サービスの向上を図っている。</li> <li>・環境美化委員会を中心に、植栽等の療養環境の整備にも取り組んでいる。</li> </ul>	A	A
	利用者の要望を把握し、運営に反映させ、満足度を高めているか。	院内に意見箱を設け、患者の要望等を随時把握し、適切に対応している。	B	B

運営体制	職員は適切に配置されているか。	予定した人員配置を行っている。	B	B
	要望、苦情等への対応は迅速かつ適切か。県へ報告しているか。	対応は迅速・適切に行っており、県（病院局）への報告も適切に行っている。	B	B
	事故・災害等、緊急時に備えた体制は確保されているか。	各病棟の災害対策グループにより、緊急時に備えている。3分間シミュレーションを毎朝実施している。	B	B
	県、その他関係機関との連携は取れているか。	県、市町村、筑波大学、水戸済生会総合病院などの医療機関との連携を取っている。	A	A
利用状況	利用者数の状況は、計画を達成できているか。	概ね達成できている。（計画に対し95%以上）入院89.0% 外来70.2%	B	B
	施設の稼働率は、事業計画に照らして適当な水準にあるか。	概ね達成できている。（計画に対し95%以上）病床利用率89.0%	B	B
収支状況	収支計画が適正に執行されているか。	適正に執行されている。	A	A
	経費削減に向けた取組みがされているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・後発医薬品を導入し、使用率80%を達成している。</li> <li>・済生会の共同購入品を採用することで材料費の削減を図った。</li> <li>・県立中央病院と重油の共同購入を実施している。</li> </ul>	A	A
<p>【総合評価】・・・各評価項目及び施設の性格・特殊性を考慮した総合的な評価</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・後期研修医の指導やサブスペシャルティ（専門分野）の技術習得への取組など、小児救急体制や診療科体制の充実が図られるとともに、医師不足地域への医師派遣により小児科診療の充実が図られている。</li> <li>・県内初期研修医向けの小児科専門研修プログラムにおけるエコー合宿や高校生の看護体験など、小児診療に関わる人材確保に積極的に取り組んでいる。</li> <li>・訪問看護ステーション等向け研修会やシンポジウムなど、小児在宅医療の推進及びそれに関わる人材の育成支援に努めている。</li> <li>・通常診療と新型コロナウイルス感染症への対応の両立に取り組むとともに、地域医療支援病院の指定を受けるなど、地域連携・支援の強化に努めている。</li> </ul>				

- ※
- ・実績（管理指標に対するコメント）欄については、指定管理者が記入する。
  - ・総合評価欄については、所管課が記入する。
  - ・自己評価、所管課評価欄について

評価	評価基準
A	事業計画を上回る成果があったもの
B	事業計画どおりの成果があったもの
C	事業計画を下回っており、改善努力が必要なもの